

令和4年度 第3回学校運営協議会について（報告）

令和5年3月2日（木）に開催致しました学校運営協議会の要旨を報告致します。

会 長：中島 智子（大阪大谷大学 元特任教授）

副会長：宇野 里砂（武庫川女子大学 准教授）

委 員：吉松 崇（藤井寺市立藤井寺小学校 校長）

竹澤 住江（卒業生保護者 しゅらの郷福祉会理事 支援センターしゅらの郷管理者）・欠席

楠谷 雅司（藤井寺市川北地区 区長）

安井 完（PTA会長）

* 敬称略

1 開会

- ・挨拶 校長 高田 清将
- ・配布資料の確認

2 報告

① 学校教育自己診断アンケートについて（教頭）

アンケート結果の表の見方の説明を行った。内容については、学校評価に協議の中で取り上げる。回収率が上がった。従来の紙ベースに、Google フォームアンケートを併用して行った影響が考えられる。

② 医療的ケア（人工呼吸器）ガイドライン改定（首席）

今年度から運用を開始した中で出てきた課題を整理し、次年度に向けてガイドラインの改定を行った(施行は4月)

(委 員)改定したことで、手続きにかかる期間はどれくらい短縮できるのか
(事務局)別室待機まで概ね一か月程度になる予定

③ その他の取り組みについて（首席・教頭）

- ・令和4年度卒業生予定者進路状況 報告
- ・授業アンケートについて 報告
土曜参観にあてたことで、授業アンケートの回答率が上がった。

3 協議内容

① 令和4年度「学校評価」について（校長）

(議 長) 少数意見を大切にしていることに感心した。

学校自己診断アンケート結果より、保護者と教員との回答に差が出ているのが気になる。そこを検討することで、学校の課題が見えてくるのではないかと。

(委 員) 電子連絡帳の使用については、検討しないのか。

(校 長) 検討課題に入れている

(委 員) 小学校では、取入れ始めている。保護者からは概ね好評ではあるが、家庭での ICT 環境により、利便性に差が生じていることや、「書く習慣」を保証については、検討課題としている。

来年度より本格的に導入予定。

② 令和5年度学校経営計画について(案) (校長)

中期的目標については、承認

(委員) 働き方改革はとてもよいこと。子どもたちが楽しむ活動は減ってほしくない。

(校長) 働き方改革を進めるにあたって、本末転倒にならないように子どもたちに活動に制限がかからないように、検討していくが、大胆な行事の精選が必要と考えている。

(委員) 地域の防災訓練で、藤井寺支援の体育館も利用させてもらった。
コミュニティ作りにおいても、さらに学校と連携していきたい。

閉会